

秋田市学校適正配置

# 中央地域ブロック協議会だより

第2号

令和元年 10 月 10 日(木) 18 時 30 分から、中央市民サービスセンターにおいて、第2回中央地域ブロック協議会を開催しました。

## 第2回中央地域ブロック協議会の協議内容

協議会では、教育委員会から、4校の統合により開校した雄和小学校の事例や他都市の取組状況等について説明をした後、協議会からの要請により、小学校の統合の組合せ(案)を示し、意見交換を行いました。



### <議題>

- ・中央地域における学校統合の組合せ(案)について
- ・学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について

### ○中央地域ブロックにおける学校統合の組合せ(案)

	小学校(9校→6校を上限)		中学校(3校→3校を上限)	
	小学校名	接続先	中学校名	
組合せ(1)	①寺内小学校 ②八橋小学校 ③泉小学校	➡	①泉中学校	
組合せ(2)	④中通小学校 ⑤築山小学校	➡	②秋田南中学校	
組合せ(3)	⑥旭北小学校 ⑦旭南小学校 ⑧川尻小学校 ⑨保戸野小学校	➡	③山王中学校	

### ○理由

#### 【小学校】

#### (1) ①寺内小と②八橋小の組合せ

- ・寺内小と八橋小は、寺内小が八橋小から分離新設した経緯があること。
- ・寺内小と八橋小の接続先が泉中であること。

#### (2) ④中通小と⑤築山小の組合せ

- ・中通小は、すでに1学年1学級となっていること。
- ・中通小と築山小の接続先が秋田南中であること。

#### (3) ⑥旭北小と⑦旭南小の組合せ

- ・旭北小と旭南小は、旧旭小から2校に分離した経緯があること。
- ・旭南小の接続先が、秋田南中と山王中に分かれている課題があること。

※中学校は、現行の3校のままとすることについて、第1回協議会において決定済

裏面につづく

## <協議の中で出された主な意見等>

○旭北小学区の飛び地と保戸野小や旭南小のように、一つの小学校から二つの中学校に分かれて進学している課題を解決するため、学区の再編を考えるべきである。

○少子化が進む中で、学校の統廃合はやむを得ないが、統合に伴い、学区が広域になった場合、通学の安全面と防犯対策をしっかりしてほしい。

○統合後に使用する校舎や学区の再編により、児童数の増減が想定されることから、地域ブロック内だけではなく、さらに広域的に検討すべきである。

○今回示された学校の組合せ(案)には、基本方針で示す学校の適正規模に満たない小学校があることから、隣接する地域ブロックとの協議が必要である。

○今回示された学校の組合せ(案)をもとに、委員所属の各種団体等の意見を協議会で出し合いながら、検討を重ねるべきである。

○地域は学校とともに繁栄してきたので、それぞれの地域や学校の特色、これまでの歴史的経緯等を踏まえた検討が必要である。



## <今回の協議で決定した事項>

### ★次回以降も、引き続き意見交換を行う★

○教育委員会が示した小学校の統合の組合せ(案)に対して、引き続き、意見交換するため、各委員が所属団体等の意見を集約し、次回も現状や課題について協議を続ける。

## 第 3 回中央地域ブロック協議会の開催予定

日 時：令和 2 年 1 月 23 日(木) 18 時 30 分～20 時

会 場：中央市民サービスセンター 多目的ホール

議 題：中央地域における小学校の統合案について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

### 地域ブロック協議会とは・・・

○秋田市教育委員会が平成 31 年 3 月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、小・中学校の学校統合の方向性(学校の組合せ)などについて、地域の代表者や P T A の代表者、未就学児の保護者、公募委員などで協議する組織です。

### ●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室 秋田市山王一丁目 1 番 1 号

○電話 888-5812 ○F A X 888-5804 ○e-mail [ro-edaz@city.akita.lg.jp](mailto:ro-edaz@city.akita.lg.jp)

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>